

2021.
4/24^{sat.} — 6/6^{sun.}

《大きな木》2021年 ©mirocomachiko



開館時間●9時—17時(入館は閉館の30分前まで) ※4月24日(土)は19時まで開館

休館日●月曜日、5月6日(木) ※5月3日(月・祝)は開館

入場料●一般=1000円、学生=800円、中学生以下入場無料

会場●刈谷市美術館 主催●刈谷市美術館、朝日新聞社 後援●愛知県教育委員会

協力●亜紀書房、朝日出版社、朝日新聞出版、味の手帖、iTohen、岩崎書店、幻冬舎、講談社、小学館、ブロンズ新社、プレーメン

※前売券、団体料金の設定はありません。

※身体障害者、精神障害者保健福祉、療育の各手帳所持者及び
付き添いの方(1名)は入場無料。入館の際に手帳をご提示ください。

●展覧会公式サイト <https://mirocomachiko-cm.exhibit.jp/>

刈谷市美術館
Kariya City Art Museum

いきものたちはわたしのかがみ

ミロコマチコ

いきものはわたしがみ

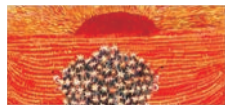
デビュー絵本『オオカミがとぶひ』（2012年、イースト・プレス）が、「第18回日本絵本賞大賞」を受賞したミロコマチコ（1981-）は、まさに彗星のごとく出版業界に登場しました。その後も、国内外の絵本賞や文芸賞をたて続けに受賞し、新作が常に期待される絵本作家のひとりです。いっぽうで、画面いっぱいには生物や植物をのびのびと描いた作風で知られ、画家としての活躍にも注目が集まっています。本展では、近作・新作を中心とした絵画や絵本原画から、書籍の装画、立体作品、アートディレクションまで200点以上を展示し、その魅力を余すところなく紹介します。



《たくまんのいきものでてきてる体》2018年



左/《味の手帖》(外国のどんぶり) 2017年 右/《まっくらやみのまっくら》2017年



《ドクルジン》2018年



《いっぴき》2018年



《しない》2018年



《あつちの耳のつちの目》(つちのおぼろ) 2018年 ©kanaharu



《こどものための実用シリーズ みんないきもの》2018年 すべて©mirocomachiko



《丘の風、海の天気》2020年



刈谷市美術館 Kariya City Art Museum

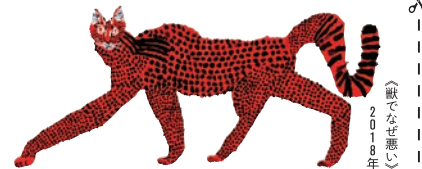
〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4-5 tel.0566-23-1636
fax.0566-26-0511 <https://www.city.kariya.lg.jp/museum/>

●交通案内

【電車】JR・名鉄三河線「刈谷駅」下車、南口から徒歩約10分 *「刈谷駅」はJR「名古屋駅」から快速で約20分
【車】名古屋方面より＝国道23号線（知立バイパス）「一ツ木IC」から約5km *駐車場あり（無料60台）

【周辺情報】企画展「歴史へのいざない-佐藤コレクションの魅力-」（4月24日～6月6日）刈谷市歴史博物館 [入館無料]

ミロコマチコ展 本券を美術館受付にお持ちください。本券1枚につき2名、100円割引します。なお、他の割引との併用はできません。

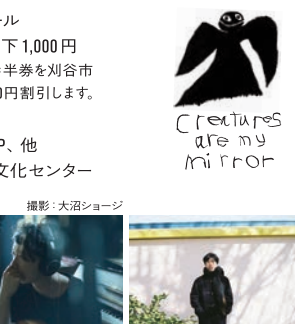


《獣でなせ悪い》2018年

●関連イベント

① LIVE PAINTING 「海を混ぜるⅡ」

出演＝ミロコマチコ × haruka nakamura
日時＝4月24日(土) 15:00～17:00
*14:30開場/15:00開演
内容＝数年に渡りコラボレーションしてきたミロコマチコと音楽家・haruka nakamura (ピアノ)によるライブ・ペインティング。ゲストに打楽器奏者・ISAOを迎えます。
会場＝刈谷市総合文化センター アイリス 小ホール
料金(税込)＝全席自由：一般3,000円/小学生以下1,000円
*3歳未満路上鑑賞無料。座席が必要な場合は有料。*半券を刈谷市美術館「ミロコ展」受付にご提示いただくと入場料から200円割引します。
チケット一般販売＝3月27日(土) 10:00～
プレイガイド＝刈谷市総合文化センター窓口・HP、他
主催＝刈谷市、刈谷市教育委員会、刈谷市総合文化センター (KCSN共同事業体)、刈谷市美術館、朝日新聞社
協力＝ターナー色彩株式会社
haruka nakamura / 音楽家。近年は、杉本博司「江之浦測候所」の特別映像、国立新美術館「カルティエ 時の結晶」安藤忠雄「次世代へ告ぐ」などの音楽を担当。 <https://www.harukanakamura.com/>



② TALK SHOW 「波を漕ぐⅡ」

講師＝ミロコマチコ × 筒井大介 (絵本編集者)
日時＝5月22日(土) 14:00～15:30 *13:30開場/参加無料
内容＝絵本『オオカミがとぶひ』、『オレときいろ』、『ドクルジン』を担当した編集者の筒井大介さんを迎え、ミロコさんの絵本づくりの秘密に迫ります。
会場＝刈谷市中央図書館3階大会議室 (美術館隣)
定員＝100名 (事前申込制) *申込方法は、当館ホームページをご覧ください。
筒井大介 (ついでに) / 1978年大阪府生まれ。フリーランスの絵本編集者。野分編集室主宰。担当した絵本に『ドクルジン』(ミロコマチコ)、『こどもたちはまっぴら』(荒井良二)、『ぼくはいしころ』(坂本千明)、『ネコツメのよる』(町田尚子)など多数。『ブラッキングター』(スズキコージ)、『オオカミがとぶひ』(ミロコマチコ)がそれぞれ第14回、第18回日本絵本賞大賞を受賞。『オレときいろ』(ミロコマチコ)が2015年度プラティスラヴァ世界絵本原画展金のりんご賞受賞。編著に『あの日からの或る日の絵とことば 3.11と子どもの本の作家たち』がある。水曜えほん塾、nowaki絵本ワークショップを主宰し、作家の発掘や育成にも力を注いでいる。

③ 学芸員によるギャラリー・トーク

日時＝4月28日(水)、5月12日(水)、5月26日(水) 14:00～1時間程度
*申込不要、参加無料 (要観覧券チケット)

ミロコマチコ

ミロコマチコ / 画家・絵本作家
1981年大阪府生まれ。生きものの姿を伸びやかに描き、国内外で個展を開催。絵本『オオカミがとぶひ』(イースト・プレス)で第18回日本絵本賞大賞を受賞。『てつぞうはね』(ワニブックス)で第45回講談社出版文化賞絵本賞、『ぼくのおとんはうみでまて』(あかね書房)で第63回小学館児童出版文化賞をそれぞれ受賞。『プラティスラヴァ世界絵本原画展』(BIB)で、『オレときいろ』(WAVE出版)が金のりんご賞、『けもののおいし』(てんとう虫) (若崎書店)で全席を受賞。その他にも著書多数。第41回蔵谷小波文芸賞受賞。展覧会『いきものたちの音がきこえる』が全国を巡回。本やCDジャケット、ポスターなどの装画も手がける。2016年春より「コレナランデ商会」(N.H.K.E.P.A.)のアートワークを手がけてる。 <http://www.mirocomachiko.com>



撮影：大沼ショージ